

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和 8年 2月 27日

事業所名： ゆいまーるにゆうがわ

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	自己評価	事業所の現状評価	保護者の方の評価	評価を踏まえた改善内容・改善目標
環境	1 利用定員に応じた指導員等スペースの十分な確保	3	1	1	十分スペースがあるため支障はないが、保育士数増・遊具増強に伴い、利用人数が増加しやすい環境を維持していきます。
体制整備	2 職員の適切な配置	3	1	1	その日に利用される人数・支援状態に応じた職員の配置を行っています。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい者の特性に応じた設備整備	3	1	1	フロアでの遊びがしやすい物の配置やスケジュール等を視覚的に分かりやすく配置しています。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	3	1	1	利用前・利用後には換気を行い、臭いや汚れを取り除ききれいな環境を確保しています。また、清潔なトイレを確保し、清潔な環境を維持しています。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)へ関係職員の積極的な参画	4	1	0	定期的に職員会議を実施して業務改善に取り組んでいます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の推進	2	0	3	第三者による外部評価は現在実施していません。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	4	0	1	施設内研修・外部研修を取り入れて職員の資質向上に取り組んでいます。
適切な支援の提供(継続)	1 適切な支援プログラムが作成、公表されている	5	0	2	支援プログラムの公表はHPにて行っています。スタッフ共有にも更新しています。
	2 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	5	0	1	知り得た情報を元にアセスメントから保護者のニーズを把握し作成しています。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画にのける子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	5	0	2	職員全体で情報を出し合い共有し共通理解をもって計画を行っています。
	4 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	5	0	2	その日の状況に合わせたプログラムを作成しています。得意な活動・苦手な活動で個人が得意な活動に参加していただけるよう心掛けています。
	5 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に合った適切な支援の実施	4	1	0	支援の計画にない利用希望や、利用希望にない利用希望を把握し、柔軟に対応しています。
	6 チーム全体での活動プログラムの立案	5	0	0	その都度、職員間で情報共有しながら実施しています。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	5	0	2	季節を感じるイベントや伝統行事を取り入れるが楽しんでもらえよう工夫しています。
	8 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	4	1	0	学校の延長にならぬ様に、業者でカバーできないような工夫を行っています。
	9 支援開始前における職員間その日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	5	0	0	利用者様が来る前に、ミーティングを実施しています。担当や役割を話し合い適切な支援を目指しています。
	10 支援終了後における職員間その日の行われた支援の振り返りや気付いた点などの情報の共有化	5	0	0	終わりのミーティングや、その日の振り返りを行い、必要な支援について話し合っています。ノートに記入した職員間で共有しています。
	11 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	5	0	0	HUJに入力しモニタリングで検証できるようにしています。
	12 定期的にモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	5	0	0	定期的にモニタリングを実施しています。担当者会議には、職員間で話し合っています。
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	4	1	0	利用者様や保護者様との関係性等を考慮し、決められた担当職員が参画するが、児童発達支援管理責任者が参加しています。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重度心身障害のある子ども等)を支援している場合、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施(医療的ケアが必要な子どもや重度心身障害のある子ども等を支援している場合)	2	3	0	現在、医療的ケアが必要な子どもは1人ですが、必要に応じて関係機関と連携して支援しています。
	3 子どもの主治医や協力医療機関等と連携体制の整備	1	4	0	現在、医療的ケアが必要な子どもは1人ですが、必要に応じて関係機関と連携して支援しています。
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの内務な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小・中・高)等との間で支援内容等の十分な情報共有	3	2	0	担当者会議やケース会議に、関係機関の職員が参加しています。
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	1	3	0	今年度、他事業所へ移行した方が1人ですが、関係機関の職員に様子をお伝えしています。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	5	0	0	施設内研修や外部研修に参加しています。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと交流する機会の提供	4	1	0	保育所との交流イベントを実施しています。児童館は利用したいという要望があり、交流を促しています。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	3	1	0	地域の保育園との交流イベントを毎年行っています。

区分	チェック項目	自己評価	事業所の現状評価	保護者の方の評価	評価を踏まえた改善内容・改善目標
1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	5	0	0	契約時にご説明させていただいています。
2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の丁寧な説明	5	0	0	担当者会議への参加・保護者様・相談員さんら情報提供を促してまいります。
3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレントトレーニング等の支援の実施	3	1	0	ペアレントトレーニング等の研修等は実施していませんが、保護者様からのご相談等があった場合は、適切な方法をお伝えしています。
4	子どもの発達状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	5	0	0	送迎時やお話、HUG等で様子を伝えています。
5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	5	0	1	相談があった際には、事業所から出来る事を相談し、助言を行っています。
6	父母の間の生活の支援や、保護者会などの関係する保護者同士の連携支援	0	5	3	保護者会の必要性は感じていますが、実施までには至っていません。
7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制の整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	5	0	0	苦情等があった場合は、その日のうちに対応して、職員に周知しています。
8	障がいのある子どもと保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	5	0	0	ミーティングや支援計画等で情報交換を行っています。
9	定期的に金銭等の管理、活動費等について説明や、連絡体制の整備を行う子どもや保護者への発信	4	1	0	今年度より、金銭の広報の作成を徹底して実施しています。
10	個人情報保護の取扱いに対する十分な対応	5	0	0	支援の実施計画に必ずシミュレーションをして行っています。
11	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	5	0	0	職員や保護者への周知が不十分なため、HUG等を活用し周知徹底してまいります。
12	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	5	0	0	地震・火災等、災害に応じた訓練を実施しています。
13	感染症や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況の確認の実施	5	0	0	見学やご契約時に確認する様にしています。保護者様より情報共有を行い、対応出来るよう職員間で情報共有を行っています。
14	食中毒アレルギーのある子どもに対するアレルギーの指示に基づく適切な対応	5	0	0	アレルギーのある利用者様に、アレルギーの指示を厳格に確認し、対応を行います。発作時の対応策を情報共有しています。
15	安全管理の徹底	5	0	0	定期的な研修や訓練に参加できるようにしています。
16	家族等との連携を図るため、安全計画に基づく取組内容についての家族等へ周知	5	0	0	保護者様にはHUGにて安全計画の取り組みを説明しています。
17	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	5	0	0	ヒヤリハット発生時には情報共有を行い報告書を作成しています。
18	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	5	0	0	定められた時期に、研修を行う様にしています。虐待防止の意識を高めています。
19	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前十分に説明・了解を得た上での実施	5	0	0	身体拘束はしていませんが、やむを得ず行う場合には、保護者様に事前十分に説明・了解を得た上で実施を行っています。